

西武学園文理小学校

【理事長】安達原 文彦
【校長】マルクス ベドロ

〒350-1332 埼玉県狭山市下奥富600 Tel.04-2900-1800 <https://www.seibunri-es.ed.jp/> 【交通】西武新宿線「新狭山駅」徒歩10分 スクールバス/J R埼京線・東武東上線「川越駅」、西武池袋線「稲荷山公園駅」、J R八高線・西武池袋線「東飯能駅」

2027年度から バイリンガルスクールへ生まれ変わります

西武学園文理小学校は、2027年度より本格的なバイリンガルスクールへと生まれ変わります。今回の変革は、単なる英語の授業増ではなく、学校生活全体を日英両言語が共存する環境へと進化させるものです。

最大の強みは、「日本の学校」としてのアイデンティティと、世界水準の英語教育の融合にあります。従来の日本型教育とインターナショナルスクールの両方の利点を活かし、確固たる日本語の思考力と日本文化の理解を土台に据えつつ、英語を日常的な学びの道具として習得することを目指します。

12年間にわたる一貫教育の入り口として、子どもたちが言語の壁を越えて世界の見え方を広げ、自らの可能性を最大限に引き出せる未来を創造します。

Starting in the 2027 school year, Seibu Gakuen Bunri Elementary School will officially evolve into a bilingual school. This transformation goes beyond simply adding English classes; it represents a major shift toward an environment where children grow through both Japanese and English in every aspect of school life.

The school's primary strength lies in fusing its identity as a "Japanese school" with world-class English education. By combining the benefits of the Japanese curriculum with those of an international school, the program ensures students develop a strong foundation in Japanese thought and culture while gaining the ability to use English as a natural tool for learning.

As the starting point of a 12-year educational journey, the school aims to help children expand their worldview and future possibilities by mastering both languages, enabling them to connect confidently with the global community.

西武学園文理の教育の重点

「すべてに誠をつくし、最後までやり抜く強い意志を養う」という学園全体の教育方針のもと、「こころを育てる」「知性を育てる」「国際性を育てる」の3つを教育の柱に設定し、日々の教育活動の中で実践するとともに、学力を身につけるだけでなく、ホスピタリティ教育を重視し、明るく元気で、人を思いやる優しさのある温かい心を育みます。

日本型教育と国際教育の「融合」

本校のバイリンガル教育の根幹は、「日本の学校」としてのアイデンティティと、高度な英語環境の高度な両立にあります。

一般的な日本の学校との違いは、従来の学校では日本語による一方向の学びが主となり、英語はあくまで教科の一つに留まりがちです。また、インターナショナルスクールでは、英語環境は充実しているものの、日本の学習指導要領に基づいた学びや、日本文化・日本語の育成が手薄になる懸念があります。

本校においては、これら両者の「良いとこ取り」を目指してまいります。日本の教育課程に基づく確かな学力を土台としつつ、英語を日常的な学びに深く組み込むことで、どちらか一方に偏ることのない、ハイブリッドな教育モデルを構築します。

理想とする子供の姿と未来への展望

本校の教育の最終的な目標は、子供たちが「日本語か英語か」の選択を迫られるのではなく、両言語を等しく自らの力として育んでまいります。そのため、母語（日本語）の重視、いわゆる思考力の根幹となる日本語を大切に、自国の文化に対する深い理解を育みます。また、発信力の育成においては、日本語で育んだ思考を英語で表現し、世界の人々と関わりながら自らの考えについて自信を持って発信できる力を養います。

小学校入学から高校卒業の12年間にわたる一貫教育の入口として、バイリンガルスクールは極めて重要な役割を果たします。多言語を習得することは、単にコミュニケーションが便利になるだけではありません。複数の言語を持つことで世界の見え方が多層的になり、子供たちの将来の可能性を無限に広げていくことこそが真の目的です。



沿革

学校法人文理佐藤学園が、昭和56(1981)年、西武学園文理高等学校を、平成5(1993)年には西武学園文理中学校をそれぞれ開校。平成16(2004)年4月、豊かな自然を残す入間川に近い高台に西武学園文理小学校を開校しました。

2027年度募集要項

- ◆募集人員：男女合計96名
- ◆出願期間：インターネット出願のみ
【第1志望】8/19～8/28
【第1回】8/31～9/11 【第2回】9/21～10/4
- ◆受験料：25,000円
- ◆入学試験日：
【第1志望】9/4・5のうち本校指定日時
【第1回】9/17～19のうち本校指定日時
【第2回】10/16・17のうち本校指定日時
- ◆面接試験日：
【第1志望のみ】入学試験と同日
- ◆試験内容：
【第1志望】面接試験、入学試験（行動観察）
【第1・2回】入学試験（ペーパーテスト、運動テスト、行動観察の3項目）
- ◆合格発表：インターネット発表のみ
【第1志望】9/8 13:00
【第1回】9/24 13:00 【第2回】10/20 21:00
- ◆2027年度入試用説明会等（事前予約制）
①学校説明会（学内開催型）
5/27（水）、6/27（土）、8/2（日）
時間はいずれも午前
②「Bunri Open Day」（学内開催型）
※お子様向けイベント
6/6（土）午後、6/20（土）午後、7/11（土）終日
開催時間や実施内容等の詳細については、学校のホームページをご覧ください。
- ◆学費等
入学金：250,000円 授業料：500,000円（年額）
施設設備費200,000円（年額）※2026年度実績

併設中学進学状況

- ◆西武学園文理中学校
※一定の基準を満たしている者が進学できる

データパック

- ◆児童数353名/教員数65人
- ◆26年度志願者数：671人
- ◆合格者数：544人

【併設校】

- 西武学園文理中学校・高等学校
- 西武文理大学

上級学校に進むには

一定の基準を満たしている者に限り、中学校への進学は可能です。